

3月18日(日) 晴れ

朝、3時前に起床。昨日作った握り飯を食べ3:50にYHを出発、4時過ぎのシャトルバスに間に合う。ドジャースタジアムには5時前に着く。まずドジャースタジアムを見学する。ここでかつて野茂英雄投手が活躍したのだとしばし感動の一時を過ごす。そこから待合のテントに移動。テントの中はランナーたちで一杯だ。しばらく黒いビニールを被り寒さをしのぎ、時間を過ごす。トイレに行ったあとコースに並ぶ。1マイルあたり11分10分あたりに並ぶ。ちょうど7時半号砲が鳴りスタート。スタートラインまで5分3秒かかった。天候も晴れ時々曇りで絶好のコンディション、途中何枚も写真を撮る。日本と違って、スパイディとかスパーダーと聞こえ、スパイダーマンと言う声援はあまりない。他に仮装して走っているランナーはほとんどおらず日本とはえらい違いだ。それでも観衆の大声援を受け6:8:17でゴールできた。去年より1時間ほど速いゴールだった。ゴールしたときすごい風が吹いており、大変だったが何とかYHまで帰ることができた。シャワーを浴び、飲み物を飲んだりして過ごすうち、初フルマラソンの3人もゴールして一人だけ除いて全員無事帰ってきた。

ところがいつまで待ってもひとりのランナーだけが戻ってこない。何かアクシデントがあって戻って来れないのかと心配し、団長はゴール付近まで探しに行った。また、受付にお願いしてまだ帰っていないランナーの状況を調べてもらったら、20kmまでは通過したチップの記録があり、それ以降はチップの記録がない。メンバーで相談の結果、受付にお願いして、警察、消防署、病院などにも聞いてもらったがそれらしきランナーはいないという。ロサンゼルス領事館にも電話してそのランナーからの救助依頼が届いて居ないか確認したが届けはない。そうこうしているうちに予約している夕食の6時が迫ってきた。夕食をキャンセルしてみなでこのまま帰りを待とうという案も出たが、皆は疲れてお腹もすいている。何もしないで待つより、まずは予約している夕食を食べようということになり、昨日と同じレストランに行き、完走パーティーを行う。盛大にと行きたいところだが、場合が場合だけにあまり騒ぐこともできず、しかし、それでも初めてフルマラソンを完走した3人のランナーのコメントを聞いているうちに、こちらもついつい貰い泣きしてしまった。あまり長く完走パーティーを続けていても良くないので、適当に切り上げて再び彼の帰りを待つが一向に戻ってこない。受付に再度確認したが、病院、警察、消防署には該当者がいない。領事館の方とも直接連絡が取れ、色々心当たりを調べてもらったが駄目だった。領事館の方が言うには、このような場合は本人からの連絡を待つしかどうしようもないのだという。結局11時過ぎまで色々手を尽くして捜索し、待っていたが本人が帰ってこないで、ついに日本の家族に連絡を取ろうということになり、その電話の準備をしているところに携帯電話が鳴り、ロサンゼルス在住のある日本人が本人を保護しており、ホテルに送り届けたいという。それを聞いた全員は良かった良かったと大喜びで彼の無事を喜んだ。やがて日本人の友人の方が彼をYHまで車で連れてきてくれ、彼の無事を確認した。彼の断片的な説明によると、4時前にゴールしたが、昨日覚えていたはずのYHへの帰り道が分からなくなり、疲れた体でウロウロしていると、ある親切な女性がパトカーを呼んでくれて彼をパトカーに収容してくれた。そこで彼はサンタモニカユースホステルの名前かまたは、YHの名前や住所を書いた迷子札を示せば、一発で解決したはずなのに、彼はYHの名前も迷子札も示せなかった。そこで警察官たちはサンタモニカやハリウッドなど彼が泊まりそうな主要なホテルに彼を乗せて連れてまわり、長時間探し回ったが、彼を泊めているというホテルが見つからず、結局もとの戻って彼を下ろしたという。彼は再びYHに行こうとしたが見つからず、ある喫茶店に入りコーヒーを何杯もお代わりして困っているとき、あの親切な日本人に助けられたのだという。何事もなかったからいいようなものの、もし彼がYHの名前と住所の書いてある迷子札を持っていたらとついつい思ってしまう。兎に角、全員疲れて寝たのは真夜中の1時過ぎであった。







3月19日(月) 晴れ

朝、7時前に起床。昨日の疲れからか皆ぐっすり寝ており、起きるのがつらい。今日も予定通りベニスビーチへ733のバスに乗っていく。(75セント/1人)そこからサンタモニカまで歩いて戻る。

サンタモニカから南下した場所にあるのがベニスビーチ。オーシャン・フロント・ウォークは、海岸沿いに設けられている歩行者専用道路で、T-シャツやアクセサリ、サングラス、帽子などを売っているユニークな露店がワシントン通り(Washington Blvd)からベニス通り(Venice Blvd)辺りまで並んでいる。ベニスビーチから徒歩約5分の所には、アボットキニー(Abboto Kinney Blvd)という通りがある。短い通りだが、セレクトショップやお洒落なカフェ・レストランが沢山あり、特に週末は、地元の人たちで賑わっている。お店をのぞきながらぶらぶら歩くのもいいし、いろんなパフォーマンスを見るのも楽しいし、浜辺でポーと海を見ているだけでもとっても癒されるところだ。サンタモニカに戻ったところで、久しぶりにうどんとお寿司の盛り合わせを食べる。15\$だが、日本食なのでとてもおいしい。そこで解散し、夕食まで自由行動とする。サンタモニカビーチを少し散策し、顔の彫刻を作っている街角の彫刻師がいたので、顔の彫刻を頼む。15分、15\$だ。1日で固まるらしい。日本へ持って帰るのがちょっと心配だが、工夫して持って帰ろう。皆はよく似ているという。若くてハンサムだとも……モデルが良ければ、出来栄も良くなるものだとな得する。YHに戻りシャワーを浴び、自炊して食事を食べビールを飲む。

ところが、夕食時間を過ぎて昨日遅かった彼が帰ってこない。心配した二人が探しに行くが見つからない。明日はサンフランシスコへの移動日で朝4時半にはシャトルバスが迎えに来るので、早くに寝なければならない。皆心配し心配し、心配疲れから10過ぎには寝てしまう。すると12時過ぎにひょっこりと彼が帰ってきた。昨日に続いて、2日連続の深夜帰還なので誰も何も言わない。少し事情を聞くと皆と別れてから、午後2時過ぎに昨日お世話になった喫茶店にお礼を兼ねて支払いに行こうとしたが、喫茶店の場所が分からず、またYHの場所も分からなくなり、探しながら歩いているうちに住宅街や山手にまで来てしまった。午後9時ころまでウロウロしていたが、昨日助けてくれた親切な日本人の方のメモを思い出し、電話したところ自宅におりすぐに助けに行くと言ってくれ、駆けつけてくれた。そして日本人の友人の方に再びYHまで送ってもらったとのことであった。そのまま全員深い眠りに落ちる。





